



	<p>入国3年目に随時3級の実技試験が義務化され在留期間がさらに2年延長（H29.11～） 5年目に随時2級の実技試験も義務化。</p>	
実技試験水準調整会議の開催	厳正、かつ円滑な実技試験実施に向けての検定委員会議の開催	5月、11月
技能検定に関する広報の実施	<p>1 技能検定の受検促進のため、受検案内書、ポスターの作成配布 配布先：県内事業所、市町村、職業安定所、専門高校 等</p> <p>2 新聞掲載等による広報活動</p>	<p>3月（前期） 9月（後期）</p> <p>3月（前期） 9月（後期）</p>
技能検定委員の委嘱	令和元年度技能検定委員の委嘱 （5月 約190名） （11月 約150名）	前期、後期
表彰	表彰規定に基づく永年勤続の検定委員に対する協会長の表彰	5月、11月
フォローアップ講習	技能検定合格者に対するフォローアップ講習の実施 2職種を予定	
（Ⅲ）開発振興 認定職業能力開発校に対する指導援助の実施	認定職業能力開発校の普及推進を図るための入校案内、ポスターの作成支援、広報	6月
認定職業能力開発校の研修の実施	九州ブロック認定職業能力開発校長会議の開催 （熊本市） 熊本県認定職業能力開発校運営会長・校長合同会議及び指導員・事務職員研修会を兼ねて開催	10月
訓練関係表彰	優秀訓練生等に対する協会長表彰	11月
職業訓練実施助成	（1）熊本県建設業協会との連携による建設関係訓練校への助成	
講習会、研修会の実施	（1）職業訓練指導員講習（48時間講習）の実施 1級技能士等を対象に、職業訓練指導に関する指導・訓練方法等の専門知識の習得を目的として実施する。	7月 年1回開催 （6日間）



<p>(IV) 他の試験 コンピュータサー ビス技能評価試験</p>	<p>中央職業能力開発協会との共同によるコンピュータサ ービス技能評価試験の実施 各部門ごとに、1級、2級、3級について、認定試験と 一般募集試験で実施する。 受験者見込数 2,500名 (30年度実績2,722名)</p> <p>OA 機器操作分野 ①ワープロ部門 ②表計算部門</p>	<p>5月～3月</p>
<p>ビジネス・キャリ ア検定試験</p>	<p>中央職業能力開発協会が主催するビジネス・キャリア検 定試験の普及拡大及び試験の実施 事務系職務の8分野43試験区分について、1級～3級 及びBASIC級（基礎的知識）のレベルに体系化された試験 単位で実施する。</p> <p>・ 受検者見込数 240名（30年度実績220名）</p> <p>1級 5名（30年度実績 0名） 2級 70名（30年度実績 64名） 3級 160名（30年度実績153名） BASIC級 5名（30年度実績 3名）</p> <p>・ 各団体の広報媒体の活用、個別企業への訪問</p>	<p>10月（前期） 2月（後期）</p>

<p>(V) 受託事業 若年技能者人材育成支援等事業 (厚生労働省)</p>	<p>ものづくりマイスター、ITマスター及びテックマイスター（以下「ものづくりマイスター等」という）の認定・登録</p> <p>(1) ものづくりマイスター等に対する指導技法等講習の実施</p> <p>ものづくりマイスター等の活用事業</p> <p>(1) ものづくりマイスター等の派遣による実技指導の実施 目標延べ4, 280人日 (30年度実績4, 262人日)</p> <p>(2) 「ものづくりの魅力」発信講座の実施 目標500人日（※予算上は例年500人日） (30年度実績762人日)</p> <p>(3) 「ITの魅力」発信講座の実施 目標4校 (30年度実績4校)</p> <p>※ ものづくりマイスター等については、引き続き中小企業への派遣に配慮するとともに、要望の多い高校等に対しては、偏りがないよう計画的な派遣を行う。</p> <p>地域における技能振興事業</p> <p>(1) 第14回若年者ものづくり競技大会参加支援 (福岡県、8月1日～2日)</p> <p>(2) 第57回技能五輪全国大会予選会の実施及び参加支援 (愛知県、11月15日～18日)</p> <p>(3) 熟練技能者の派遣による実技指導の実施</p> <p>(4) ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるイベントの開催 目標年2回開催400名 (30年度実績2回開催、参加者478名)</p> <p>(5) 卓越した技能者（現代の名工）の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援</p> <p>地方公共団体、経済団体等との連携会議の開催 年2回開催予定 (30年度実績2回開催)</p>	<p>4月～</p>
--	--	------------